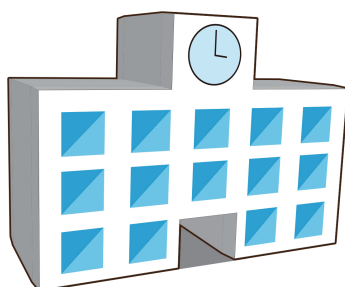


第二回総会・講演会

「学習指導要領改訂の方向性」



東京大学教職支援ネットワーク二回目となる総会をホームカミングデイにあわせて開催いたします。また、総会の後に、教育心理学コース教授で中央教育審議会教育課程部会委員の市川 伸一教授による講演会「学習指導要領改訂の方向性」を行います。みなさまふるってご参加ください。

日時：10月15日（土）14:30～16:00

会場：経済学研究科棟3階 3番教室

参加費：無料 定員：60名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加申込は WEB サイトから

東大 教職支援

検索



<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/ut-knet/>

講演概要

当初、道徳や小学校英語の教科化、高校地歴・公民の再編成といったローカルな改訂となっていた次期学習指導要領が、実際には、学校教育の大変革を迫るようなものとなりそうだ。

内容的知識のみならず教科横断的な資質・能力の育成、それに伴うアクティブ・ラーニングという教育方法の導入、カリキュラム・マネジメントによる学校経営の組織化などがとくに注目されている。

ところが、2015年8月の教育課程企画特別部会の「論点整理」が出されて以降、一部の偏った情報もあって、学校現場ではかなり混乱している向きもある。まもなく出される「審議のまとめ」に沿って、次期指導要領の方向性を見据え、その影響を考えていきたい。



講師：市川伸一 東京大学大学院教育学研究科 教育心理学コース教授